

《事務事業の手段と活動指標》【18】

事務事業を構成する細事業	手段(細事業の具体的内容)	活動指標	単位	H23実績	H24実績	H25実績	H26計画
① 定員管理事務	定員適正化計画の策定、計画の実行	職員数	人	560	547	538	526
② 人事異動事務	人事異動の実施	異動職員数	人	212	202	208	244
③ 臨時・非常勤職員の任免事務	臨時・非常勤職員の任免	臨時職員及び非常勤職員数	人	849	619	636	600
④ 職員募集事務	次年度の新規採用職員を募集する。	新規採用職員数	人	8	8	9	5
⑤ 任期付職員採用事務	任期付職員の任免	任期付職員数	人	0	1	3	3

《事務事業の成果》【19】

成果指標(意図の数値化)	計算方法又は説明	単位	H23目標	H24目標	H25目標	H26目標
			H23実績	H24実績	H25実績	
1 定員管理適正化計画に基づく職員数削減の達成率	定員管理適正化計画の目標値÷実績×100	%	100	100	100	100
2			102	101	101	

《事務事業の評価》

評価項目	評価の視点	評価	評価の説明
妥当性 (判定)	実施主体の妥当性【20】 市が実施すべき事業か。また、民間やNPO等他の団体では実施できない事業か。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 問題なし	
	目的の妥当性【21】 税金を使って達成する目的か。また、役割が薄れていないか。	<input type="checkbox"/> 問題あり <input type="checkbox"/> 問題なし	
	廃止・休止の影響【22】 事業を止めた場合、受益者に不利益が生じる等の影響があるか。	<input type="checkbox"/> 影響あり <input type="checkbox"/> 影響なし	
有効性 (判定) A	目標の達成度【23】 成果指標の目標値は達成できたか。	<input checked="" type="checkbox"/> 達成 <input type="checkbox"/> 未達成	
	成果向上の余地【24】 成果がもっと上がる余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	上位施策への貢献度【25】 上位施策の目的達成に貢献しているか。	<input checked="" type="checkbox"/> 十分 <input type="checkbox"/> 不十分	
効率性 (判定) A	コスト低減の余地【26】 コストの低減について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	民間の活用の余地【27】 民間委託など民間活力の活用について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	執行方法改善の余地【28】 事務事業の執行上、簡素化又は改善できるプロセスはないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
	事業統合の余地【29】 類似する他の事務事業との統合について、これ以上検討の余地はないか。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input checked="" type="checkbox"/> 余地なし	
公平性	受益者負担の余地【30】 受益者負担について、これ以上検討の余地はないか。また、対象、負担額等は適切か。	<input type="checkbox"/> 余地あり <input type="checkbox"/> 余地なし	

《今後の方向性と改善》

今後の方向性【31】	<input type="checkbox"/> 拡充して継続 <input checked="" type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 縮小を検討 <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討 <input type="checkbox"/> 細事業の効率化【 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 民間活用 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> 廃止 】
判断理由及び見直し・改善の具体的内容	現在、定員適正化計画の目標以上に推移しているため、現状のまま継続する。しかしながら、定年延長の開始時期によっては、計画の大幅な見直しが発生すると思われる。
昨年からの見直し・改善状況【32】	平成25年度については、社会人枠で土木施工管理士を1名、再任用の義務化に伴い再任用短時間勤務職員を8名任用することとした。

■評価責任者記入欄■

評価責任者(課長)の所見【33】	数値的には、職員定員適正化計画に基づいた任用が確実に実行されており、また常勤一般職員に限らず、目的に沿った多様な任用ができていていると思われる。今後行政事務の更なる高度化・多様化に向けて、任用形態や募集職種等の検討を予定している。	評価責任者 瀬崎 正治
------------------	---	----------------